

令和4年度 美術科 授業改善推進プラン

大田区立東蒲中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・各学年とも授業開始時の2分間クロッキーは定着しており、気持ちの切り替えと技能向上に効果が見られた。
- ・日常に関連させた題材にすることで、生徒の意欲関心が沸き、発想構想の工夫が見られた。
- ・各学年を通して「木に触れる」「彩色する」などの内容を含む課題を行うことにより、技能や発想の面で基礎基本の定着と進捗が見られた。

(2) 課題

- ・ねらいが明確ではなかったために、制作の進行の度合いにばらつきが出てしまった。
- ・教員側の制作方法の説明が不十分であったために、制作方法がわからない生徒が増えてしまった。
- ・授業終わりの振り返りの指示が不十分であった。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基本的な道具の名称、使用方法について生徒の現状をよく把握した上で具体的な課題を設定していく。	「造形遊び」から「作品制作」への思考の転換がよりよく図れるような指導方法を工夫していく。	「振り返りシート」記入の習慣づけを目指し具体的な目標設定を提示する。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ICT 機器と実演、実物提示の使い分けによる効果的な指導を心掛ける。	発想の展開に時間をかけ、刺激を与えることができる例示教材や実例、実演を充実させる。	「振り返りシート」記入に時間を充分設け、記入方法を具体的に示す。またタブレット上でポートフォリオを作成させることで、制作過程を視覚的に残せるようにする。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ICT 機器と実演、実物提示の使い分けによる効果的な指導を心掛ける。	発想の展開に時間をかけ、刺激を与えることができる例示教材や実例、実演を充実させる。	「振り返りシート」記入に時間を充分設け、記入方法を具体的に示す。またタブレット上でポートフォリオを作成させることで、制作過程を視覚的に残せるようにする。